

旅する長崎学

公式テキスト

Question

知ってナットク!
ナガサキの魅力



なぜ、長崎に
世界の知識が
集まったのか



旅する長崎学 公式テキスト

長崎県文化振興課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL.095-895-2762 FAX.095-829-2336 http://tabinaga.jp



旅する長崎学
公式テキスト

平成26年3月発行
企画・発行 / 長崎県文化振興課
*本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載および複写を禁じます。

長崎のなぞが
とけたぜよ!



思わず旅したくなる歴史ガイドブック

旅する長崎学

各号600円(税込) A5版/64ページ/オールカラー [長崎県企画]

- ◆ 1～6巻 キリシタン文化
- ◆ 7～10巻 近代化ものがたり
- ◆ 11～15巻 海の道
- ◆ 16～17巻 海の道(中国交流編)
- ◆ 18～21巻 歴史の道 全21巻



ネットで学ぶ長崎学もチェック!

長崎県の歴史と旅の遊学サイト

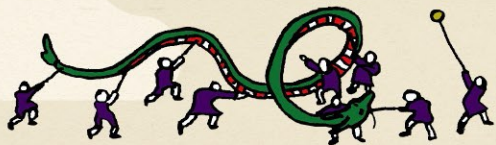
「たびなが」

詳しくはWEBで

たびなが

検索





Contents

なぜ、長崎に世界の知識が集まったのか？

P2

世界のなかの日本！



P4

日本と長崎の歴史大集合！



P5

Question 1

なぜ、長崎で
近代的な産業が
発展したのか？



P9

Question 2

なぜ、
長崎に教会が
多いのか？



P11

Question 3

なぜ、長崎は
扇のかたちを
しているのか？



P13

Question 4

なぜ、長崎に
中華街が
できたのか？



コラム① 長崎中華街のなりたち
〜唐人屋敷から新地へ〜

P15

Question 5

なぜ、
8月9日、
長崎へ、
なにがあったのか？



P17

Question 6

なぜ、
ザビエルは
平戸へやってきましたのか？



P21

Question 7

なぜ、佐世保に
東郷平八郎の
像があるのか？



P25

Question 8

なぜ、大村純忠は、
キリシタン大名に
なったのか？



P29

Question 9

なぜ、島原で
大きな一揆が
おこったのか？



コラム② 天草四郎は美少年だったか

P33

長崎県の交通ガイド

日本は世界から見て、
周囲を海に囲まれた小さな島国です。
長崎県はその西端に位置します。
でも、大陸に近く、海からやってくる外国人にとっては、
日本の玄関口という役割を持っていました。
ポルトガル人、中国人、オランダ人、イギリス人……。
外国人との交流によって生まれた新しい文化やスポットが
今や貴重な遺産として注目を集めています。



ワシはペリーが乗ってきた「黒船」を見て、本当にビックリしたぜよ。この出来事をきっかけに、世界のことを知りたくなったんじゃ。



坂本龍馬



西洋と出会った日本で何が...

大航海時代からペリー来航へ

ヨーロッパ世界と日本がはじめて出会ったのは十六世紀

中頃。大航海時代とよばれ、地球規模での交易がはじまっています。その頃、日本は戦国時代で、ポルトガルやスペインの南蛮人がもたらした鉄砲は瞬く間に広まり、キリスト教もまた、信徒を増やしていきました。南蛮人がもたらした新しい文化は大きな衝撃をもって日本人に迎え入れられたのです。江戸時代に入ると、ヨーロッパとの交易は長崎の出島において、オランダとのみ行うようになりました。その間、ヨーロッパの国々では市民革命と産業革命という二つの大変革をなしとげ、近代へと時代は大きく移り変わっていました。高度な科学的知識と圧倒的な技術力を背景に、再び、西洋の文化は東洋へ、そして日本へと押し寄せてきたのです。異文化がぶつかる時、そこには何かが生まれます。ペリー来航後、新しい世界の枠組みのなかに放り込まれた日本はどう対応しようとしたのでしょうか。そして、その時、長崎では...

日本は黄金の国だと聞きマシタ

1254~1324
マルコ・ポーロ

13世紀に、日本のことを「黄金の国ジパング」と紹介したイタリア人の冒険家。約24年に渡ってアジア各地を旅し、それをまとめた旅行記「東方見聞録」は、のちの大航海時代に大きな影響を与えました。



1451~1506
コロンブス

ゴールドを絶対に見つけるノダ!

1492年にスペインのバルセロナ港を出発し、西回りでアメリカ海域へ到達したイタリアの探検家。到達した大陸をインドと誤っており、先住民をインディオと名付けました。



インドの香辛料はスバラシイ!

1469頃~1524
バスコ・ダ・ガマ

ポルトガル人の航海者。ヨーロッパからアフリカ南岸を経て、インドへと繋がる航路を発見した最初のヨーロッパ人。このインド航路に乗って、のちに多くの外国人が日本へとやってきます。



発明は近代化の力なり!

1736~1819
ワット

イギリスの発明家。大学時代に蒸気機関技術に興味を持ち、緻密な計算によって効率よい動力を導き出しました。それは、工場で活躍し、また整備士や技術者など新しい分野を生み出すなど産業革命の重要な役割を担いました。



勝利はわが迅速果敢な行動にあり

1769~1821
ナポレオン

18世紀後半にフランスで起きた大革命。多くの戦いに勝利し膨大な勝利品を得た若き英雄ナポレオンは、ついに「皇帝」の地位まで上りつめました。当時、オランダと交易していた長崎出島にも、この革命のことが伝えられました。



アメリカの艦隊は無敵である!

1794~1858
ペリー

アメリカ海軍の重人。自由な国際貿易を閉ざしていた日本へ黒い蒸気船で来航し、開国を迫った人物です。イギリスやフランス、ロシアなどに負けじと、アメリカもアジアへの進出を狙っていました。



江戸時代の日本と黒船の艦隊はGin-cunとちんちん! -URR-

日本と長崎の歴史大集合!

ワタクシは「倭の国」の女王

弥生時代



卑弥呼

古墳時代



前方後円墳

飛鳥時代



聖徳太子

奈良時代



東大寺の大仏

平安時代



藤原道長

鎌倉時代



源頼朝



元寇(鷹島)

室町時代



金閣

Question 6



フランシスコ・ザビエル

Question 8



大村純忠

日本でキリスト教を広めました



長崎開港
(ポルトガル船の入港)

Question 8



ルイス・フロイス

私の命はみんなと共に



禁教令・踏絵

Question 9



有馬晴信

Question 6



ウィリアム・アダムス
(三浦按針)

江戸時代



徳川家康

Question 2



日本二十六聖人殉教
(ルドビゴ茨木)

いざ! ローマへ!



Question 8
天正遣欧使節



豊臣秀吉

安土桃山時代



織田信長

キリスト教信徒がいたとは...奇跡だ!



Question 2
プロテジャン神父

Question 9



島原・天草の乱
(天草四郎)

Question 4



出島

Question 4



唐人屋敷完成

Question 3



シーボルト

日本には珍しい文化がいっぱいデス



Question 1
アメリカの使節
ペリー来航



勝海舟

Question 1



グラバー



坂本龍馬

Question 1



本木昌造

日本の政を朝廷に返上します!



Question 1
ハルデス



東京オリンピック



Question 6
太平洋戦争
広島・長崎に原爆投下

昭和時代



大正デモクラシー
(吉野作造)

大正時代



第一次世界大戦



夏目漱石

佐世保港は全くすばらしい



日清戦争
日露戦争

Question 7



東郷平八郎

福沢諭吉



鉄道・電話

明治時代



Question 2
ド・ロ神父



徳川慶喜
大政奉還

ココにも注目!



優秀な人材がここに集まった

長崎海軍伝習所跡

長崎奉行所西役所（現在の長崎県庁）の一角に幕府によって設立。集まった幕臣の中には、後に海軍の祖といわれる勝海舟の姿も。教師陣の一人だった軍医ポンペは、長崎に滞在したわずか5年間で、日本の医学教育の基礎を築きました。

初めの洋式海軍学校が日本の近代化の始まり

近代的な洋式の海軍を作るため日本に力を貸したのは、鎖国時代に貿易で交流のあったオランダでした。そのアドバイスに従って、幕府は長崎に、海軍の兵学校「長崎海軍伝習所」を開設。幕臣や諸藩の藩士たちが全国から集まりました。教師陣は、オランダから

初めの洋式海軍学校が日本の近代化の始まり

長崎海軍伝習所

安政2年(1855)開設



「長崎海軍伝習所之図」対岸には出島オランダ商館がありました(公益財団法人鶴島報効会所蔵)



オランダから幕府に寄贈されたスピン号(観光丸)は、伝習所の練習船として活躍。復元されたものが観光船として長崎港で活躍しています

右奥にスピン号(観光丸)の姿も

今も長崎港では復元された船に会えるよ

西洋の新しい技術を導入シマシタ



グラバー



Question ①

なぜ、長崎で

近代的な産業が発展したのが

なぜ、長崎で

日本人が今まで見たこともない黒い大型艦船が日本の海にやってきました。その船の来航は、まだ「海軍」を持たない日本人にとって、いつそう国を強くするきっかけとなりました。これが近代的な産業の急速な発展へと繋がっていきます。

美しい文字を印刷したい!



本木昌造



ペリー来航

嘉永6年(1853)

近代の夜明け
幕末から明治維新へ

「黒船がやってきた!」と、日本人がびくつき仰天した嘉永六年(一八五三)。外国との交流をほぼ絶つて二百年以上たった江戸末期に事件がおこりました。アメリカ海軍のペリー提督率いる巨大な蒸気船が浦賀沖(現在の神奈川県)に現れ、日本に開国をせよと迫りました。ペリーの「黒船」は、木でできた日本の船の二十倍以上の大きさ。帆を張らなくても進み、大きな煙突と重厚な大砲を備えた近代的な船でした。こんな軍艦で攻めてこられてはひとたまりもありません。アメリカの圧力もあり、幕府は翌年、長崎以外に新たな港を開きました。続いてロシア、イギリスも来航。アヘン戦争で中国(清)はイギリスに敗れており日本としても、一刻も早く、欧米諸国に対抗できる海軍力を持つことが必要でした。

長崎に外国人がやってきた!

当時あった大きな「一本松」が家のあだ名に



大浦天主堂と同じ、熊本県天草出身の小山秀之進による建築。ガラスの温室や庭に並んだ大砲に、当時の日本人が驚いたという記録も残ります

旧グラバー住宅

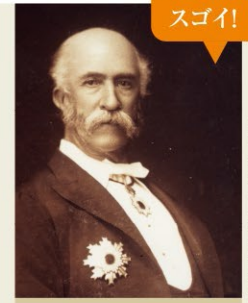
文久3年(1863)建築

たくさんの蒸気船が貿易のため長崎港を出入りしたよ



開港以降、長崎の南山手、東山手を中心に、外国人が住む居留地が造られていきました(長崎大学附属図書館蔵)

この人がスゴイ!



日本近代化の父
トーマス・グラバー
(1838~1911)

トーマス・グラバー(長崎歴史文化博物館蔵)

長崎でグラバー商会を設立。幕末には、後に明治維新で活躍する志士たちを支援しました。明治3年(1870)にグラバー商会は倒産しました。その後高島炭鉱を手に入れた三菱のみなとで石炭事業などにかかわります。晩年に勲二等旭日重光章を受章。日本の近代化に貢献した功績を評価されました。

外国商人の活躍で 西洋の最新技術を導入

安政五年(一八五八)、日米修好通商条約により、日本の五つの港が外国にむけて開くことが許されました。その中でも、長崎は海外との長い交易の歴史や、貿易都市・上海に近いこともあり、多くの外国商人が訪れます。開港と同時に長崎にやってきたのが、スコットランド出身の商人、トーマス・グラバーでした。彼は小型の蒸気機関車を長崎の海岸通りで走らせるなど、当時の西洋の最新技術を取り入れた日本初となる事業を次々と行いました。佐賀藩と共同で高島炭坑を開発し、薩摩藩とともに小菅修船場を建設。明治以降は造船や石炭など近代産業にかかわりました。長崎南山手の居留地に建てられたグラバー邸は、日本最古の木造洋風建築です。

ココにも注目!



炭鉱で栄えた高島の歴史が分かる

高島石炭資料館

昭和61年(1986)に閉山した高島炭鉱の様子をわかりやすく紹介している資料館。昭和63年(1988)に開設され、当時使われていた機械や道具、従業員を坑道まで運んだ人車などが展示されています。資料館前には端島(軍艦島)の模型も。

TEL.095-896-3110

近代化を支えた黒いダイヤとは?

軍艦「土佐」に似ていたから「軍艦島」と呼ばれるようになりました



島には学校もあれば映画館、パチンコ、プール、神社まで。ビルの上には保育園もありました

海に浮かぶシルエットはまさに軍艦。南北約四百八十メートル、東西約百六十メートルの小さな島に、コンクリートの建物がひしめく端島が「軍艦島」と呼ばれるゆえんです。元は三分の一ほどの小さな瀬で、昭和六年(一九三三)の埋め立てで現在の形になりました。明治二十三年(一九一〇)、三菱の経営になると、高島炭坑とともに製鉄の原料になる優良炭が豊富な海底炭鉱として、たちまち発展。日本の産業の急速な成長を支えました。最盛期は約五千二百人が住んでいましたが、エネルギーの主役が石炭から石油に変わっていった昭和四十九年(一九七四)に閉山。現在は無人島となっていますが、クルージングで島の一部に上陸でき、注目を浴びています。

日本の炭鉱近代化の先駆けとなった高島

開港された長崎には、多くの外国船が入り出すようになり、燃料として、たくさん石炭が必要でした。そこで商人グラバーは、長崎港から南西に約十五キロ沖にある高島の炭鉱経営を佐賀藩と共に始めます。それまで地表の石

炭層を人がつるはしで掘って運んでいましたが、グラバーはイギリスから技師を呼び、最新の機械を導入。日本初の洋式堅坑「北溪井坑」を開坑し、蒸気を動力にした巻き揚げ機や排水ポンプを使って効率よく大量の石炭を掘りだしました。こうした採炭方法は筑豊や北海道など全国に広がり、日本の炭鉱の近代化に貢献しました。

高島炭坑

明治2年(1869)北溪井坑開坑

日本で初めて蒸気を動力にして大量の石炭を掘ったんだよ



明治14年(1881)三菱の経営に。閉山までの100年間で良質の石炭約5500万トン(端島炭坑など支山含む)を出産しました(日本大学芸術学部写真学科所蔵)



明治34年(1901)の炭坑の様子と思われます(長崎歴史文化博物館蔵)

掘り出した石炭はトロッコで波止場まで楽に運びました

この人がスゴイ!



近代工業の基礎を日本人に教えた

ハルデス

(1815-1871)

長崎製鉄所の建設を監督、指揮したオランダ海軍士官。工場や煙突の壁に使われたレンガは厚さがやや薄い通称「コンニャクレンガ」と言われています。製鉄所建設の傍ら長崎海軍伝習所では蒸気理論の講義も行いました。

Column

小菅修船場跡

艦船を修理するドックが必要になり、薩摩藩と貿易商人グラバーによって明治元年(1869)建設。



イギリスから取り寄せたスリップ式ドックで、約1000トンの船を引き上げることができました。船を乗せる架台の形がソロバンに見えることから別名「ソロバンドック」とも言われています。曳揚機小屋には「コンニャクレンガ」が使われています。

現存する日本で一番古いレンガの建物!

長崎製鉄所

文久元年(1861)落成



1860年頃の建設中の長崎製鉄所。レンガ造りの鍛冶場など3つの工場を備えて完成。現在の三菱重工長崎造船所のルーツとなりました(三菱重工(株)長崎造船所提供)

長崎製鉄所から近代の造船が始まった

長崎海軍伝習所が開かれると、実習に使う蒸気船の修理施設が必要になりました。そこで派遣されたのが、主任技師オランダ海軍機関士官のハルデスでした。彼は現在の長崎市飽の浦に工場の建設を始めます。日本人職工たちはオランダ語も通じず西洋の機械の知識もありません。ハルデスは辛抱強く丁寧に、レンガの焼き方から指導しました。そうしてオランダから最新の工作機械を導入して近代から最新の工場が完成。その後は幕府から明治政府を経て、三菱の経営に。世界に誇る発展を遂げた日本の造船業は、ここから幕を開けたのです。



明治31年(1898)に建てられた旧木型場を、三菱の歴史を伝える史料館に改装。長崎製鉄所を建設するときに取り寄せた日本最古の工作機械「堅削盤」も展示されています

三菱重工(株)長崎造船所 史料館
TEL.095-828-4134

日本人が目に向けた西洋技術

この人がスゴイ!

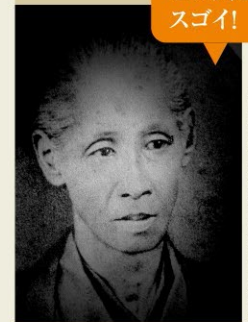
活版伝習所

明治2年(1869)開設



コレがタテヨコ1センチほどの種字

本木昌造が作り出した電胎法による日本初の種字



美しい活字を研究し続けた人

本木昌造

(1824-1875)

阿蘭陀通詞として長崎海軍伝習所で通訳を務めました。印刷のほか造船、航海術、製鉄にも優れた才能を発揮。後に長崎製鉄所の頭取として日本最初の鉄橋(くろがねばし)を建設。長崎で新町活版所を開き、各地に印刷事業を展開しました。

情報を見やすく大量に印刷文化の革命

長崎出身の本木昌造は、オランダ語の通訳を行う「阿蘭陀通詞」の家に育ちました。活版印刷で刷られたオランダ語の本を見て「日本語もこんなに美しく印刷できたら」と思ったのかも知れません。活版印刷は、文字を反転させた活字を、文字ずつ組み合わせて版を作り、印刷するもの。昌造は独自の活字を作り、画数が多い漢字や、線がなめら

かなひらがなは上手く印刷できませんでした。しかしついに明治二年(二八六九)、上海から招いた活版技師ガンブルから「電胎法」という画期的な方法を学んだ昌造は、日本の文字を美しい活字にすることに成功したのです。時代は明治に移り、大量の印刷物が必要とされました。昌造は門下生を大阪、東京、横浜に送り印刷所を開設。その結果、日本で初めての日刊紙「横浜毎日新聞」が発行されるなど、近代活版印刷術は全国に普及していったのです。

コレにも注目!



軍艦島には最先端がいっぱい

小さな島にたくさんの方が住むために、端島(軍艦島)には大正5年(1916)から日本初の鉄筋高層アパートが次々と建てられました。9階建てのアパートでは屋上庭園で野菜の栽培も! 真水を得るため、本土から給水管をつないだ海底水道も通っていました。

端島炭坑(軍艦島)

明治19年(1886)第一堅坑開坑

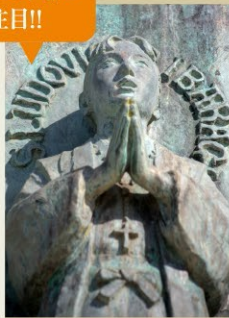


最盛期の昭和35年(1960)には5267人が住み、当時の東京の9倍の人口密度に(世界一)

軍艦に似た小さな島に五〇〇〇人が住んだ!

海に浮かぶシルエットはまさに軍艦。南北約四百八十メートル、東西約百六十メートルの小さな島に、コンクリートの建物がひしめく端島が「軍艦島」と呼ばれるゆえんです。元は三分の一ほどの小さな瀬で、昭和六年(一九三三)の埋め立てで現在の形になりました。明治二十三年(一九一〇)、三菱の経営になると、高島炭坑とともに製鉄の原料になる優良炭が豊富な海底炭鉱として、たちまち発展。日本の産業の急速な成長を支えました。最盛期は約五千二百人が住んでいましたが、エネルギーの主役が石炭から石油に変わっていった昭和四十九年(一九七四)に閉山。現在は無人島となっていますが、クルージングで島の一部に上陸でき、注目を浴びています。

この人に注目!!



12歳の少年の
気高い最期

ルドビコ茨木
(?~1596年)

殉教した26人の中でも最年少の12歳。長崎までの道中、役人から「キリスト教を捨てるなら命を助ける」と言われてもきっぱりと断りました。はりつけの十字架にかけられると、高らかな声で「パライン(天国)、イエス、マリア」と神をたたえ亡くなりました。

昇天の様子を表現したレリーフ



スペイン、メキシコ、ポルトガルの外国人宣教師6人と日本人宣教師や信徒20人。見せしめのため京都から処刑地の長崎まで歩かされました

日本二十六聖人の殉教

【日本二十六聖人記念館】 TEL.095-822-6000

慶長元年(1596)

「島原・天草の乱」後は、キリシタンではないことを証明する「寺請制度」や「絵踏」が徹底されます。信徒たちは厳しい弾圧を避け、山奥や入江に潜伏し、独自の組織をつくり信仰を守り続けました。

はりつけにされても
信仰を守った人々

信仰のために命を落とすことを「殉教」といいます。最初の大きな殉教は、豊臣秀吉によって二十



ド・ロ神父



プティジャン神父

長崎・南山手の居留地に建てられた天主堂。日本二十六聖人に捧げられた教会堂で、殉教地である西坂に向かって建てられています。正式名称は、日本二十六聖殉教者天主堂

Question ②

なぜ、

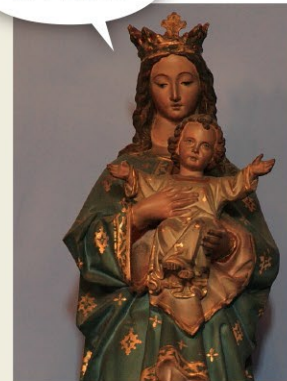
長崎に教会が

多いのか?



「信徒発見」の瞬間を見守りました

日本二十六聖人殉教 (ルドビコ茨木)



浦上村の信徒が秘密を打ち明け、目にしたマリア像が今も大切に残されています

キリスト教が禁じられて約二五十年がたった慶長元年(一八六五)。長崎居留地の南山手の丘に教会堂が完成しました。浦上村に潜伏していたキリシタンたちはひそかに教会堂を訪れます。日本人の信仰はまだ固く禁じられており、命がけの行動でした。そうして、プティジャン神父と出会い「ワタシノムネ、アナタトオナジ、サンタマリアノゴゾウハドコ?」と秘密を打ち明けたのです。長く厳しい弾圧の中、指導する宣教師もなく自分たちだけで信仰を守り続けた信徒がいたこと。これは「信徒発見」と呼ばれ、世界宗教史上の奇跡といわれています。

世界が驚いた奇跡
「信徒発見」

大浦天主堂

慶長元年(1665) 献堂

弾圧・潜伏・復活



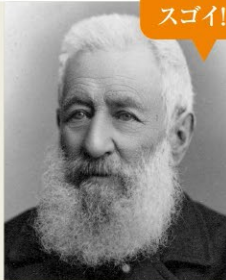
屋根には日本瓦が
使用されています

カトリック出津教会

明治15年(1882) 献堂

外海地区の山間に立つ「カトリック出津教会」はド・ロ神父による設計。強い海風に耐えるため、平屋建ての低い天井が特徴

この人が
スゴイ!



(お告げのマリア修道会所蔵)

外海の人々に
慕われる神父

ド・ロ神父

(1840~1914)

パリ外国宣教会の宣教師。1868年に長崎へ。印刷、医療、建築など幅広い技術と知識で活躍。禁教時代は潜伏キリシタンの地だった外海地方に赴任後は、女性たちの職業訓練所である「出津なげうって設立。農業や読み書き、算術の指導も行いました。

自由の証し、教会堂を!

「信徒発見」から、キリスト教信仰を隠さない信徒が現れてきました。しかし、明治になっても新政府は厳しい弾圧を続け、「浦上四番崩れ」「五島崩れ」といった大きな迫害が起こります。これに対してキリスト教国である欧米諸国は反発し、日本政府に激しく抗議。政府はついに明治六年(一八七三)、禁教令高札を撤去しました。その後、信仰の自由が認められた信徒たちは、これまで隠れていた集落に教会堂の建設を始めます。貧しい中、貝殻を焼いて石灰を作り、土や石といった資材を運ぶなどして、宣教師とともに力を合わせました。海を望む山あいや静かな入江に今もたたずむ教会は、人々がつらぬいた信仰の証なのです。



音楽は楽しい
エンターテインメント

オランダ人が住んだ出島へ潜入!

寛永18年(1641)出島オランダ商館開設

【国指定史跡 出島和蘭商館跡】 TEL.095-821-7200

「漢洋長崎居留図巻・長崎阿蘭陀出島之図」(長崎歴史文化博物館蔵)

**出島に伝えられた
日本初上陸がいつぱい**

上の絵図にオランダ貿易時代の出島の様子が描かれています。黒い帽子をかぶっているのがオランダ人で、そばには使用人の東南アジア人。奉行所の役人の姿も見えます。またバドミントン(羽つき)遊びをする人の姿や、庭には牛や山羊まで。オランダ人は牛や豚を食べ、山羊のミルクからバターを作り、黒くて苦いコーヒーを飲んでいました。当時の日本では肉食は野蛮とされていたので、長崎の役人はさぞ驚いたことでしょう。建物二階ではラッパにハープ、バイオリンの演奏を楽しみながら洋食を味わっている様子が見えます。ナイフとフォークを使って食事をし、食前酒にはワイン、食後にはコーヒーを味わう。そのテーブルマナーは今の日本人にすっかり浸透しています。江戸中期以降には、すでにこのような生活が出島で練り広げられていたのです。出島には「バドミントン伝来之地」の碑があり、ピリヤード発祥の地でもあります。

昔は海に囲まれていたのだよ



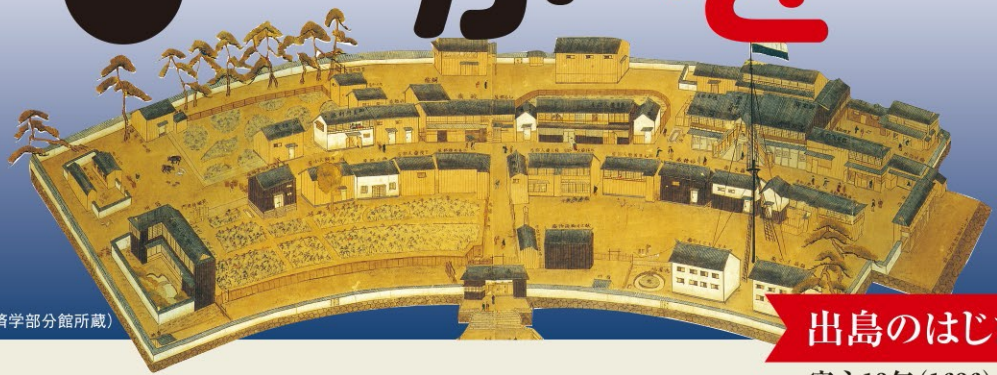
出 島は世にも珍しい扇形をした人工の島です。その形にはいくつかの説があり、徳川家光が自分の扇を見本にするように言った……と書かれた書籍もあるほどです。しかし、**本当の理由**は意外なもの。出島の秘密に迫りましょう。

Question ③

なぜ出島は

扇のかたちを

しているのが



「長崎出島之図」(長崎大学附属図書館経済学部分館所蔵)

出島のはじまり

寛永13年(1636)完成

キリスト教弾圧と出島

出島を造ることになった理由は、キリスト教を広めていたポルトガル人を一カ所に集め、監視する場所が必要だったからです。長崎奉行所(現在の県庁)からいつでも見張ることができるよう、目の前に広がる海を埋め立てて造ることにしました。扇形になったのは、丸みを帯びた海岸線の地形に沿って、浅瀬にたまっていった砂の層がすでに弧を描いていたから。地盤のよい場所を選んだ結果、扇形になったと考えられています。造成・建築に二年を要し、広さは一万五三九五平方メートルで東京ドーム三分の一ほどでした。出資した二十五人の有力町人「出島町人」には、ポルトガル商人からの家賃銀八十貫が配分されました。現在の約二億円くらいに相当します。さて、ポルトガル人に代わり、次なる住人となったのは平戸で貿易を進めていたオランダ人。オランダ商館を移設してから二百八十八年間、出島は日本の中で西洋と貿易を行う、たった一カ所の場所となりました。

日本であって日本でない出島の様子

この人が
スゴイ!

日本のことを学び、それをヨーロッパに紹介した3人の医師

出島での商館長(カピタン)は218年の間に157人が歴任しています。そして、商館医ものべ150人ほどが出島を訪れていますが、取りわけ3人の優れた医師がいました。それが「出島の三学者」です。

ケンペル

(1651~1716)



ドイツ生まれ。元禄3年(1690)に来日。約2年の滞在期間に2度の江戸参府に参加し日本を調査。彼の報告をもとにした日本の歴史、宗教、風俗のことなどを詳細に記した「日本誌」が発表されました。

ツェンペリー

(1743~1828)



スウェーデン生まれ。安永4年(1775)に来日。たった1年の滞在でしたが、約800種類もの植物をヨーロッパに持ち帰りました。彼が発表した「日本植物誌」「日本動物誌」は日本の詳しい動植物をヨーロッパに伝えることとなります。

シーボルト

(1796~1866)



ドイツ生まれ。オランダバタヴィア総督から日本の総合研究の依頼もあって文政6年(1823)に来日。「鳴滝塾」(現在のシーボルト記念館)を開設し、多くの日本人門弟にヨーロッパの医学や自然科学などを教えました。

【シーボルト記念館】 TEL.095-823-0707

出島に伝わったモノ

- 衣裳の原料となる**生糸**
- ビードロやギヤマンと呼ばれた**ガラス細工**
- 着物を染める染料の**蘇木**
- すぐお金に替えられるほど貴重だった**砂糖**
- ゾウやラクダなどの**動物**

ほか

砂糖も上白糖や黒糖などランクあり!



海外に伝わったモノ

- 金・銀・銅**
- 伊万里焼などの**陶磁器**
- クスノキを原料とした防虫剤・香料**樟脳**
- 醤油や酒を入れて輸出した**コンプラ瓶**

ほか

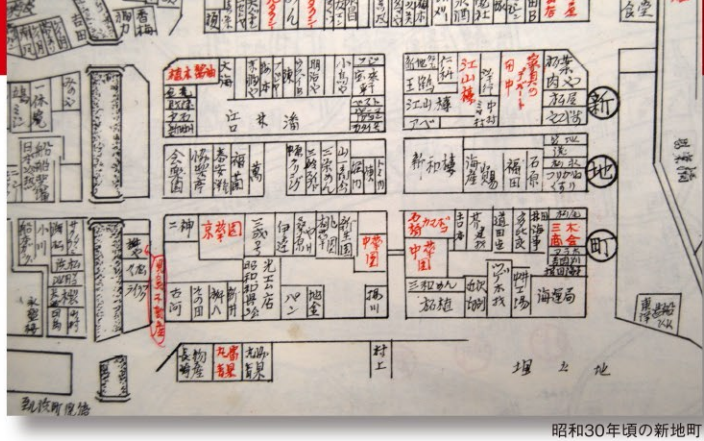


コンプラ瓶
※コンプラとはポルトガル語でコンプラドル(仲買人)を意味しています



陶磁器はヨーロッパで大人気!

陶磁器



Column ①

長崎中華街のなりたち

～唐人屋敷から新地へ～

長崎県 長崎学アドバイザー
本馬貞夫

江戸時代の長崎には、小さな異国ともいべき唐人屋敷がありました。造られたのは元禄2年(1689)です。それまで長崎に来た唐人(中国商人)は長崎市中のなじみの家に滞在していましたが、幕府の貿易統制策により唐人屋敷に居住を制限されたのです。以来唐人屋敷は、出島とともに貿易都市長崎を象徴する存在になりました。

唐人屋敷・出島といえば、出入りが非常に厳しいという印象はありませんか？ 勿論、建前はそうですが、長崎の人は唐人・オランダ人と親しく交流していました。例えば、ツテがあれば唐通事(中国語通訳)従者の名目で唐人屋敷の見学ができました。反対に唐人たちも、貿易船の航海安全祈願などを理由に金比羅山に登ったりしました。ピクニックですね。

さて江戸時代も終わりに近づき、安政5年(1858)欧米諸国との間に通商条約が結ばれた後の中国商人の動向をみてみましょう。1840年に起きたアヘン戦争をはじめとする戦乱は、中国(清国)国内を混乱と落とし

入れ、物資集散も困難になって長崎へ向かう貿易船は激減していました。安政6年来航の船3隻は容易に本国に帰国できず、乗員はそのまま唐人屋敷に留まって本国から家族を呼び寄せる事態になりました。鎖国時代女性の来日は厳禁だったのですが、情勢が変化したのです。欧米の貿易商人が台頭するなか、彼らは唐人屋敷を出て隣接地の広馬場や、これまで貿易の拠点であった新地蔵所に移り住み、また造成されたばかりの大浦居留地に進出して貿易活動を行うようになりました。近代長崎華僑はこうして生まれました。華僑とは、中国から海外に移住して経済活動を行う中国人とその子孫の人たちをいいます。

それでは、新地中華街について明治中頃の様子がわかる史料(「各国人員並戸数調査表」)を分析してみましょう。新地にあった38の華僑の店舗のうち、徳泰号や泰昌号といった貿易商社が16、雑貨店も多く11です。新地以外の華僑居住地をみると、欧米人が多い大浦に

は衣料・洋品店が、広馬場には飲食・食品店が多く、梅香崎には石炭業の店が並んでいました。華僑全体で貿易商社は21ですから、大浦に進出した貿易商社も新地に集まってきたと思われれます。つまり、現在と違って明治から昭和初期の新地は貿易商中心の街でした。

ところが、日中戦争がはじまると広東出身者などの多くは帰国し、おもに福建の人たちが残りました。彼らに飲食店を営む人が多かったことから、また貿易商も中華料理店に転じて、第二次大戦後しだいにグルメ街としての“新地中華街”が誕生しました。横浜・神戸の中華街と並ぶ日本三大中華街といわれています。



東西南北の入口に立つ四つの中華門は昭和六十六年(一九八〇)に完成、中華街は東西・南北合わせて約五〇〇mのコンパクトな町です。



毎年、中国の春節を祝う旧正月には、長崎ランタンフェスティバルが15日間に渡って開催されます。

Question ④

なぜ、長崎にできたのが中華街か

長崎 崎名物ちゃんぽん・皿うどんの専門店が約四十軒も立ち並ぶ長崎の中華街は、正式名称を「**長崎新地中華街**」と呼びます。「新地」という名前は「新しくできた場所」という意味。この名前に中華街の誕生を知るヒントが隠されています。



四角の埋め立て地が新地蔵所で現在の中華街。すぐ右隣に扇形の出島が描かれています。円山広孝筆「長崎港図」(長崎歴史文化博物館蔵)

中華街のはじまり

元禄15年(1702)完成

火事から貨物を守るうと海を埋め立てた新地

中国とも盛んに貿易を行っていた長崎には、海沿いに貿易品を保管する土蔵がありました。しかし江戸時代前期に発生した元禄の大火により、そうした唐船(中国船)用の土蔵三十棟がすべて焼失。およそ二十隻分の貨物を一気に失ってしまいました。この惨劇を機に海を埋め立て、約三五〇〇坪の新しい土地を造成、ここに大きな倉庫を建設して唐(中国)貿易の拠点としました。この土地は「新地蔵所」と呼ばれ、安政の開国(二八五九)後は、唐人屋敷を出た中国商人が移り住むようになり、繁盛し、また昭和の長い戦争を生き抜いた中国人の人々が、ちゃんぽん・皿うどんを名物とする料理店を展開し、現在のような中華街をつくり出しています。

ココにも注目!



桜の木に込めた平和を願う気持ち

嘉代子桜

戦時中、若い学生や生徒たちは「学徒動員」と呼ばれ、工場などで大人と同じように働いていました。県立高等女学校の4年生だった林嘉代子さんもそのなかのひとり。小学校に移ってきていた三菱兵器製作所の給与課で働いていたときに原爆の犠牲になりました。

1400余名の児童の尊い命が失われました



原爆の恐ろしさを残された校舎が教えてくれます。

城山小学校平和祈念館

平成11年(1999)開館



もともと階段部分だった原爆遺構で、壁にはたくさんの写真など資料を展示しています

建物に刻まれた痛ましい原爆の跡

この小学校は、原子爆弾が上空で爆発した爆心地から、わずか五百mの距離にあります。まだ「城山国民学校」と呼ばれていた当時、コンクリート三階建ての美しい建物だった校舎は原爆によって破壊。平成十一年(一九九九)二月、児童たちの発案から被爆校舎の一部が保存・改装され、現在は祈念館として活用されています。この被爆校舎は平成二十五年八月、国の登録記念物になりました。また、校内には犠牲者の一人となった林嘉代子さんを偲んで植えられた「嘉代子桜」や「少年平和像」、「被爆のクスの木」などがあります。

【城山小学校平和祈念館】 見学時間 月曜～金曜の9時半～16時半 ※土・日曜、祝日の見学は予約が必要です。

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/> ※注意事項など見学の前にホームページで確認してください。

原爆で失われた尊い命

如己堂

病状が悪化した博士へ教会の仲間から贈られたのがこの畳2枚分の小さな家でした。博士はここで原爆による病気の研究や『長崎の鐘』などの本を執筆。カトリック信徒だった博士は、この家を聖書の言葉から「如己堂」と名付けました。



たくさん名作が生まだされた部屋

長崎市永井隆記念館

平成12年(2000)開館



永井隆博士の一生を年表や遺品で知ることができます



この人に注目!

まちの復興を祈り天国へ旅立った

永井隆博士

(1908～1951)

長崎医科大学を卒業した永井隆は、放射線の医師になり昭和19年(1944)に医学博士となります。その後、放射線の研究の影響で白血病を患いますが、原爆で被爆。病気の体をおして救護活動をする中、病状が悪化し寝たきりに。最後まで平和の大切さを訴えながら、43歳で亡くなりました。博士は出版した著書の売り上げを、長崎のまちの復興のために寄付しました。

平和への祈りが込められた記念館

永井隆博士は長崎に原爆が落とされた後、医師の一人として生き残ったケガ人の救護にあたりました。自分自身も被爆し、何度も意識を失いながらの救護活動だったそうです。永井博士が私たちに残したのは、「如己愛人(自分を愛するように、まわりの人を愛しましょう)」という未来へのメッセージです。昭和二十六年(一九五二)五月一日に亡くなるまでに書いた本の原稿や直筆の書などの遺品を通して、博士が訴え続けたその思いにふれましょう。

【長崎市永井隆記念館】 TEL.095-844-3496

Question ⑤

長崎で、

8月9日、

なにがあったのか

昭和二十年(一九四五)八月九日、午前十二時二分。長崎の町に落とされた二発の原子爆弾は、一瞬にしてすべてを焼きつくし、そして多くの人々の命を奪ったのです。原爆の恐ろしさを知り、平和の大切さを学びましょう。



原爆投下後の浦止天主堂(長崎原爆資料館所蔵)

長崎原爆資料館

平成8年(1996)開館

原爆の被害を伝える資料

原子爆弾の被害によって、長崎では七万人以上の方が亡くなりました。この資料館では、上の写真に写っている浦止天主堂のように、大きな建物が破壊された当時の様子を再現し、原爆による破壊力の恐ろしさを伝えています。また、原爆が長崎に投下されるまでの経過の解説や、熱線で溶けた元の形をとどめていない瓶など、さまざまな資料も展示。「被爆者の訴え」のコーナーでは、原爆の被害にあいながら、かろうじて生き残った被爆者たちの体験や苦しみに耳を傾けることができます。



永遠の11時02分 11時02分を指して止まった柱時計は爆風で損傷しています



女子学生の弁当箱 米飯は原爆が落ちた後の火災で炭化しています

【長崎原爆資料館】 TEL.095-844-1231

この人が
スゴイ!



隆信絵図(松浦史料博物館所蔵)

南蛮貿易を進めて 力をのばした人物 松浦隆信(道可) (1529-1599)

平戸松浦家25代当主。外国との貿易を積極的に進めて財力をたくわえ、武器弾薬を購入。敵対していた勢力を倒し、平戸松浦家の地位を確かなものにした。江戸時代の平戸藩6万3000石の基礎を築いた名君。

1700年にオランダで製作された地球儀。東アジアの形がやや不正確(松浦史料博物館所蔵)



日本からは
銀を選びました



「ナウ船」と呼ばれた形のポルトガル船模型。多くの荷物を積みました(松浦史料博物館所蔵)

松浦史料博物館

昭和30年(1955)開設



松浦家のお殿様の屋敷だった120年前の建物を博物館として公開

[松浦史料博物館] TEL.0950-22-2236

平戸を豊かに!

領主が

ポルトガル船を歓迎

海を越え、地球をまわり未知の世界へ。十六世紀、西洋は大航海時代を迎えていました。なかでもポルトガルは東洋に力を伸ばします。一方、日本は戦国時代。財をたくわえ領地を守るために、平戸の領主松浦隆信は、外国との貿易を歓迎したのでした。隆信が平戸に招いた中国の貿易商・王直の手引きで、天文十九年(一五五〇)にポルトガル船が初めて平戸に入港。こうして始まった「南蛮貿易」は、平戸にたいへんな繁栄をもたらします。海外の地図には「Firando(フィランド)」と記され、国際貿易港として注目されました。



重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル肖像」(神戸市立博物館蔵)

Question ⑥

なぜ、ザビエルは平戸へやってきたのか



ザビエル

ザビエルは、なぜ平戸にやってきたのでしょうか。その理由は、平戸が古くから東シナ海の海上交通・交易の要所だったことと深い関わりがあるようです。長崎に先がけて海外文化の入り口だった平戸には、今も往時の面影が残ります。

Firando^{フィランド}は東西交易の港

ポルトガル船が運んできたのは富ばかりではありませんでした。南蛮貿易は、宣教師によるキリスト教(カトリック)の布教がセットになっていたのです。最初にやってきたのが、イエズス会の宣教師、フランシスコ・ザビエルでした。十六世紀の宗教改革で起こった新教の勢いに対抗するため、新たな布教の地を求めていたザビエルは、マラッカで出会った日本人の案内で、天文十八年(一五四九)、まず薩摩(現在の鹿児島県)に向かいました。翌年、平戸にポルトガル船が入港したことを知り、「自分あての手紙を持ってきたかも」と考え平戸へ。領主

の隆信も貿易のため彼を歓迎します。これが、長崎とキリスト教の初めての出会いになりました。短い滞在ながらも、最初の信徒は約一〇〇人。ザビエルが去った後も、彼とともに来日した宣教師らの活躍で、平戸では多くの人が熱心なキリシタンとなりました。ザビエルが平戸に来て八年後には信徒は約一五〇〇人にも。しかし、宣教師と地元寺社の対立で関係が悪化していたところへ起こったのが「宮の前事件」。この事件によって、決裂は平戸に代わる入港地をひそかに探し、やがてキリスト教に好意的な大村純忠の領地である横瀬浦(現在の長崎県西海市)が開港。永禄七年(一五六四)を最後に、ポルトガル船が再び平戸を訪れることはありませんでした。

コレにも
注目!

宮の前は現在の
平戸港交流広場



平戸はやめた! 決裂の事件 宮の前事件

永禄4年(1561)

平戸港の七郎宮の前で、ポルトガル人と日本の商人が商売のことで大ゲンカ! 武士もまじえた乱闘となり、ポルトガル船の船長と船員14人が殺害されました。事件後、日本人を処罰しなかった松浦隆信の対応がポルトガル側の怒りと不信をあおり、関係悪化へ。
※七郎宮は松浦家の守護神

平戸オランダ商館

平成23年(2011)復元開設



国指定史跡「平戸和蘭商館跡」に、発掘調査を元にした1639年築造当時の倉庫を復元



安全な航海ができるように

「伝オランダ船船首飾木像」。笛吹きと巻物を持つオランダ人の格好をした木像は、航海の守り神として船首に飾られました(松浦史料博物館所蔵)

一年で壊された巨大倉庫

江戸では徳川家康が幕府を開き、新しい世が始まったばかり。ポルトガル船が来なくなった平戸に、次にやってきたのはオランダ船でした。慶長十四年(一六〇九)、家康から貿易の許可をもらうと、平戸に商館を作ります。この時に壁を塗ったのが、日本で初めて使われたペンキだといわれています。商館は貿易が充実するにつれ規模が大き

くなり、中でも寛永十六年(一六三九)に築造された石造倉庫は、平戸が重要な拠点であることを示す最大のものでした。しかし禁教令を強める幕府は、倉庫に使われたキリスト教の西暦を理由に、翌年商館の取り壊しを命じます。寛永十八年(一六四一)には、長崎出島へ移転。新教国で、布教をせず貿易を重視したオランダは、幕末までの約二五〇年間、西洋諸国で唯一日本との貿易を許されたのです。



商館の周りに当時の名残が

オランダ塀と埠頭・井戸

17世紀

商館周辺の遺構で「オランダ井戸」が大小2つ残っています。大きなものは船用に、小さなものは商館の厨房で使用。しっくい塗り固められた「オランダ塀」は、商館が見えないよう造られたものです。「オランダ埠頭」では船から荷物の揚げ降ろしが行われました。

オランダ商館とイギリス商館



この人がスゴイ!

イギリスと日本の仲を結んだ

ウイリアム・アダムス (1564-1620)

日本名「三浦按針」。慶長5年(1600)、豊後(大分県)に漂着したオランダ船デ・リーフデ号のイギリス人航海士。徳川家康に信頼され外交顧問として仕え、領地と日本名をもらいます。後にイギリス商館の設立にも大きな働きを果たしました。平戸で死去。

イギリスの文化が最初に伝わったのは平戸だった

オランダに数年遅れて慶長十八年(一六一三)、イギリス船クロイブ号が日本で初めて平戸に入港しました。このとき貿易の許しをもらうために幕府との間を取り持ったの



当時はこんなファッション

(松浦史料博物館所蔵)

日本と英国が初めて交易



写真上/「外国人の図」(松浦史料博物館所蔵)。イギリスの人々を描いています。写真左/「英国商館遺址之碑」。初の交易を記念し昭和2年(1927)に在日英国人によって建立

が、徳川家康に信頼され武士の身分をもらった三浦按針こと、ウイリアム・アダムスでした。同年、平戸にイギリス商館が設立されます。しかし、鎖国政策を進める幕府は、次第に貿易を制限していきま

平戸はお菓子の国だった!

国際貿易港としてにぎわった平戸には、西洋のさまざまな文化がもたらされました。

なかでも日本人を驚かせたのは、砂糖をたっぷり使った「南蛮菓子」。身も心もとろけるような甘さに、人々はとりこになったことでしょう。

お殿様が作った菓子一〇〇種のレシピ本

南蛮貿易で入ってきた「南蛮菓子」は、平戸の人々に受け入れられ、独自の菓子文化が開かれます。平戸松浦家三十五代当主の松浦熙は、お菓子を大成したレシピ本を作ろうと考えました。城下の御用菓子司、葛屋と堺屋に命じて、天保十二年(一八四二)から六年かけて一〇〇種類を作らせ、菓子名や作り方を記した「百菓之図元本」を完成させました。そこから復元したお菓子は、今も楽しむことができます。嘉永三年(一八五〇)、平戸へ遊学した吉田松陰もお菓子を楽しんだかもしれませんね。

カストース

代表的な南蛮菓子の1つ。江戸時代には貴重だった卵と砂糖をたっぷり使い、位の高い人しか食べることができませんでした。



心を澄ませた座禅とお茶



お菓子といえは「お茶」。鎌倉時代に臨済宗を開いた栄西は、日本で初めて平戸で座禅を行い、中国から持ち帰った茶の種をまいたと伝わります。栄西が説いた「禅と茶」は、その後の茶道に通じるもの。後に、平戸松浦家二十九代当主松浦鎮信が武家茶道「鎮信流」を起こしたのも、そうした風土があったからかもしれません。

花かすていら

平戸ツツジをかたどったカステラの中にはこしあんが。オランダ料理の資料にも多く紹介された人気の菓子です。



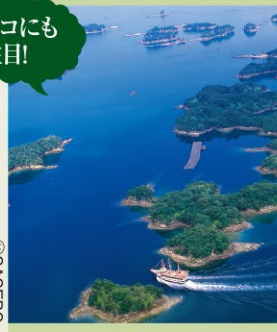
牛蒡餅

中国の貿易商から伝わったとされます。米粉と砂糖で作るあっさりとした餅。ゴボウに似た姿が名前の由来です。

Column

平戸と「お茶」

ココにも注目!



島の密度は日本一!

九十九島

佐世保市の西沿岸には208もの島々が密集する「九十九島」があります。軍港のすぐそばにあったことから開発が進まず、美しい自然が残りました。戦後には西海国立公園にも指定され、遊覧船や水族館などがある人気の観光スポットとなっています。市街地や造船所の人工的景観と島々が織りなす自然的景観のコントラストも見どころです。

明治十六年(一八八三)、佐世保湾に軍艦「第二丁卯」がはじめて入港しました。これが佐世保の歴史を変える最初の出来事でした。艦長は当時少佐であった東郷平八郎。多くの測量班をひきつれ、約半年に渡って佐世保周辺の海域を調査しました。日本を守るためには、対馬から五島を経て沖繩諸島に至る海上を警備する必要があります。そのために大陸に近いという立地条件、さらに入り組んだ港の地形が天然の良港であることが決め手となり、佐世保が横須賀(神奈川)・呉(広島)につづく三つめの鎮守府となりました。

佐世保が軍港に選ばれた理由

佐世保鎮守府

明治22年(1889)開庁

大小の島々に囲まれた美しい佐世保港



波おだやかな佐世保港には軍事工場の施設を受け継いだ造船所も操業している

日本の海を守る軍港の町として発展

東郷平八郎もまちの発展に関わった
明治十九年(一八八六)に佐世保が軍港に指定されると、港周辺の工事が加速します。水道の敷設、造船施設や弾薬庫などの倉庫群、佐世保要塞など戦いに必要な施設の建設が進みます。また明治三十一年(一八九八)には九州鉄道早岐-佐世保間が開通し、佐世保駅が開業しました。商業的なまちの賑わいも少しずつ生みだされてきたこの時期、第七代佐世保鎮守府司令長官に就任したのが東郷平八郎です。明治三十二年(一九九九)から約二年の就任期間に佐世保港の整備を進めました。また日露戦争においては、東郷を指揮官とした連合艦隊が佐世保から出航。ロシアのバルチック艦隊と対馬沖の日本海において戦闘を繰り広げました。

結果は日本海軍の圧倒的な勝利でした。そして、ロシアの捕獲艦とともに佐世保に帰港した東郷たち日本の連合艦隊を、佐世保市民は熱狂して迎え入れたそうです。



市民文化ホール(旧佐世保鎮守府凱旋記念館)。第一次世界大戦での佐世保鎮守府所属艦艇の活躍を記念して建てられました。現在も市民文化ホールとして使用されています。(佐世保市教育委員会提供)



ココにも注目!

軍港の歴史はここで勉強しよう
海上自衛隊佐世保史料館(セイルタワー)

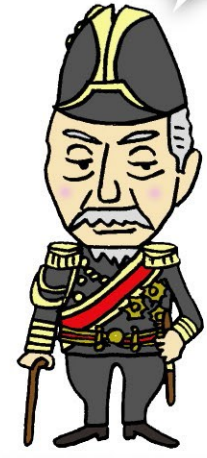
軍港の町として約130年の歴史を持つ佐世保市。鎮守府が置かれるまでの経緯や、歴代司令長官の写真、日清・日露戦争から太平洋戦争までの変遷など貴重な史料が約1000点も展示されています。建物は、海軍士官の懇親の場でもあった「佐世保水交社」跡地に立ち、その一部が修復公開されています。

TEL.0956-22-3040

なぜ、佐世保に像があるのか?

Question ⑦

佐世保は日本の海を守る要じゃ



東郷平八郎

佐世保は、明治時代に海を守る拠点として「鎮守府」が置かれた港町です。それまでは小さな集落でしかありませんでしたが鎮守府が置かれたことによって、佐世保は「軍港都市」としてめざましい発展を遂げました。



東郷平八郎 (1847~1934)

明治時代の日本海軍軍人。特に日露戦争では、海軍の作戦全般を指揮。その見事な手腕から「アドミラルト・ゴー」と称されたほど、世界でも知られた軍人でした。彼の銅像が旧海軍墓地を整備した東公園に立っています

「生き延びて次代のために」
願いの防空壕

第二次世界大戦中、旧宮村国民学校（現在の宮小学校）の防空壕として幅五メートル、奥行き十九メートルの大きな洞が掘られました。避難中にも授業や生活ができるよう、内部には立派な教壇が備えられ、重要書類の保管室、貯蓄倉庫、水飲み場、台所、裏山に抜ける避難通路も造られています。掘ったのは国民学校の生徒たち。現在の小学六年〜中学生にあたる子どもたちが、先生の指導を受けながらツルハシで掘り、ノミで整形、下級生が岩の運びだしを担当しました。「あなたたちの命を守るためです」と当時の校長の言葉に励まされ、誰もが無我夢中で作業し続けたそうです。無窮洞とは



台所もちゃんと造られています

永遠に朽ちず、子どもたちがすくすくと育つようにという意味。子どもたちまで動員して造った防空壕は、平和の大切さをよく教えてくれます。



大戦の時代を迎えた佐世保の巨大遺構



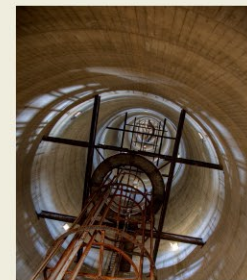
軍港ゆかりのおいしいメニュー 佐世保グルメ

「海軍さんのビーフシチュー」は、日本海軍士官だった東郷平八郎が、留学先のイギリスで食べたレシピを持ちかえって海軍の食事に加えたメニュー。「海軍さんの入港ぜんざい」は、長期の航海から母港・佐世保港に戻る前夜、艦内で振る舞われたもの。そして第二次世界大戦後、米軍基地が置かれてからハンバーガーのレシピが伝えられた「佐世保バーガー」。軍港ゆかりのメニューもぜひ味わってみよう!



たくさんさんの防空壕がそのまま店に変身

佐世保駅近くに「とんねる横丁」という商店街があります。第二次世界大戦中に、旧戸尾小学校のグラウンド下に掘られた防空壕跡を市場として利用しているため、とんねるの様に奥へ細く伸びた穴が店舗として利用されています。鮮魚店、食堂、蒲鉾店などさまざまな店が連なり、ある蒲鉾店の奥は、別の防空壕へ繋がるほど長い穴になっています(現在は途中で封鎖)。店頭からとんねるの様子が分かる店もあるので、散策しながら見学してみましよう。



【佐世保市教育委員会】 TEL.0956-24-1111

おおむら すみ ただ
大村純忠
天正15年(1587)没

洗礼名は
ドン・バルトロメオ



Bartholomeus Rex Vomura, primus Iaponensis Principum Fidem Christi amplexus.

**波乱万丈！
信仰をつらぬいた
五十五年の人生**

純忠は島原半島を治めていた有馬晴純の次男として生まれ、十七歳で大村家を相続しました。当時、領主たちの勢力争いは激しく、子どもを養子に出し勢力を広めるといふ戦略も珍しくなかったようです。大村家に入った純忠が進めたのは、大村領内での南蛮貿易でした。貿易における税金の免除やキリスト教布教の自由、教会の建設などを許可し、イエズス会と開港協定を結んだのです。永禄六年(一五六三)、純忠自身もキリスト教に改宗し、日本初のキリシ



領主の座をしりぞいた純忠が、晩年に暮らした居館跡は現在、大村純忠史跡公園になっています。純忠はここにあった屋敷で、宣教師たちに囲まれながら過ごしました。

タン大名になりました。これに大村領内の仏教徒は激しく反発し、純忠や宣教師たちの殺害を企てます。このように養子縁組から始まった悲運は多くの敵をつくり、命の危険に何度もさらされた純忠。最後までキリシタンとして過ごし、天正遣欧使節の帰国を見届けることなく五十五歳で病死しました。

Question ⑧



ルイス・フロイス

一 五五〇年、初めて平戸にポルトガル船が入港したその年に、大村純忠は大村家を相続します。その後、純忠はキリスト教に改宗。九州のキリシタン大名の誰よりも早い決断でした。



大村純忠

なぜ、大村純忠は、キリシタン大名になっただのが？

大村純忠ってどんな人？

この人がスゴイ！



横瀬浦に降り立ったポルトガル人宣教師
ルイス・フロイス
(1532~1597)



まほろしの港は
史跡公園に

よこせうら
横瀬浦
永禄5年(1562)開港



入り江になっていて波穏やかな横瀬浦。現在は公園が整備されています

永禄6年(1563)、横瀬浦に上陸した人物です。織田信長からキリスト教を広める許可をもらい横瀬浦、平戸、長崎などで布教活動を行います。天正14年(1586)には大坂城で豊臣秀吉にも会ったといわれています。フロイスは日本で活動をローマのイエズス会に報告。最後の報告となったのは長崎の西坂で処刑された26人の殉教でした。著作に歴史上の事件の数々に関する記述を行った「日本史」があります。

**一転三転
移り変わった貿易港**

大村領内で最初に南蛮貿易の拠点となった港が、現在の長崎県西海市にある「横瀬浦」です。平戸に代わって開港した横瀬浦は多くの商人でにぎわい、教会も建てられました。純忠は横瀬浦で洗礼を受け、教会に通うための館も建てたといわれています。しかし、横瀬浦はわずか一年で壊滅。キリシタンとなった純忠への反発は激しく、港が放火されてしまったのです。その後、港は長崎の福田へ移りますが、ポルトガル船が平戸の領主・松浦隆信の襲撃にあうことに。また、福田は外海に面していて風や波が激しく、貿易にはふさわしくなかったようです。代わりに港が開かれた長崎には、新しい町が誕生しました。



佐世保湾に佇む小さな島「ハノ子島」。南蛮船はこの島の頂上にある十字架を目印に、大村領最初の開港地「横瀬浦」へ入港してきたといわれています



大村の市街地から長崎空港へわたる箕島大橋のたもとに天正遣欧少年使節4人の銅像があります



長崎港から船でヨーロッパへと向かった四人の少年たちを天正遣欧使節と呼びます。大村純忠、有馬晴信、大友宗麟の三人のキリシタン大名の代理人として派遣され、四人のうち三人は大村氏にゆかりのある少年でした。旅の目的は、ローマ教皇やポルトガル国王へ、日本での布教の成果を報告すること。しかし、遠く離れたヨーロッパまでの道中は危険ばかり。彼らがヨーロッパに着したときは、すでに二年六カ月の歳月が流れていました。ローマの人々の目には、着物を着た日本人少年が神秘的に写ったようです。四人は歓迎され、日本ブームまで巻き起こったとか。しかし、長崎を離れて八年五月後、長崎に戻った彼らを受け受けていたのは「禁教」という過酷な現実でした。

ローマへ渡った4人の少年

秀吉もスカウトするほどの使節団のリーダー格



伊東マンショ
1569頃~1612
大友宗麟の遠い親戚。物事に動じず落ち着いた性格だったといわれています。帰国後、豊臣秀吉に会った際、自分に仕えないかと誘いを受けました。その後は長崎のコレジョで司祭になり、布教活動を行ったものの長崎で病死します。

深まる謎、ただ1人、信仰を捨てた理由は?



千々石ミゲル
1569頃~1633
有馬晴信のいとこにあたります。帰国後は天草でイエズス会士になったものの脱会。脱会後は大村氏に仕え、大村のキリシタン迫害にも関わりました。なぜ、ミゲルが信仰を捨てたのかはわかっていません。

弾圧にも屈せず信仰を守った男



中浦ジュリアン
1569頃~1633
慶長6年(1601)、マカオで神学を学び、慶長9年(1604)に長崎に戻ります。その後、司祭になったジュリアンは禁教令後の国外退去命令に従わず、国内に潜伏した45人の宣教師の1人に。西坂で処刑される時「私はローマへ行った中浦ジュリアン神父である」と言葉を遺しました。

禁教令後、遠い異国で生涯をとじる



原マルチノ
1569頃~1629
帰国の途中、インドのゴアで旅の報告をラテン語で行ったほど、優秀な人物といわれています。現在、長崎県庁となっている場所に「被昇天のサンタ・マリア教会」があり、マルチノはここで司祭となりました。しかし、禁教令によって国外退去に。退去先のマカオで亡くなります。

天正遣欧使節肖像画(京都大学附属図書館所蔵)

天正遣欧使節

天正10年(1582)2月20日出航

シュガーロードが伝える郷土の味

長崎に入った砂糖は諫早、大村、佐賀などを經由して北九州へとつながる「長崎街道」を通り江戸などへ運ばれたといわれています。砂糖が通った道「シュガーロード」沿いの町には、今もさまざまな甘い文化が根づいています。



砂糖を使う量でもてなしの質が変わった時代

シュガーロード

江戸時代初期、長崎街道完成

砂糖といえば今では簡単に手に入る調味料ですが、かつては「白い黄金」と呼ばれるほどとても貴重なものでした。喉の薬として大事にされた時代もあり、海外との貿易でも、砂糖は重要な取り引き商品に。宝暦九年(二七五九)には今の金額で二十四億円相当の砂糖を輸入。食事後に「今日は長崎が遠かった」といえば、それは「料理の甘さが足りなかった」ということを示すほど、長崎と砂糖の関係は深いものでした。

新鮮な魚とごぼうやしいたげなどの野菜をごはんに散らしてサンド。鮮やかな彩りが特徴です。



戦国時代、大村領主の大村純伊は有馬軍から二度は奪われた領地をふたたび取り戻します。角ずし(大村ずし)はその勝利を喜んだ領民が、考案したといわれる郷土料理です。「もろぶた」と呼ばれる長方形の木箱を使い、将兵が刀で切り分けながら食べたといわれています。南蛮貿易の始まりとともに、大量の砂糖が使われるようになり、おもてなし料理となりました。

大村ずし

おこしとは米菓子の一種。戦前、「へこはずしおこし」はいくつかの店で作られていましたが、それも今では1店舗だけに。



美味しさをあらわすユニークなネーミング

延宝七年(二六七九)、中国の僧侶欣濟上人が伝えたとされています。約三百年前、大村藩のお殿様があまりの美味しさに「へこ(男性の下着)」が外れているのも気づかず食べ続けたという話がネーミングの由来。「松原おこし」と呼ばれた時期もありましたが、昭和六十三年(一九八八)頃に名前が復活しました。米や黒砂糖などの原料にこだわって製造し、ほかの地域のおこしより食感がやわらかいのが特徴です。大村市内では学校給食にも登場しています。

へこはずしおこし

この人が
スゴイ!



士気を高めた
伝説の総大将

あまくさ しろう
天草四郎
(1621~1638)

本名は益田四郎時貞。一説には「長崎生まれ」とも伝えられています。一揆軍のまとめ役(総大将)に任命されたとき、四郎はまだ16か17歳の少年でした。父の益田甚兵衛がキリシタン大名・小西行長の家臣だったことから任命されたといわれています。一揆軍のなかでは、キリシタン信仰の中心となる司祭役も担っていたようです。

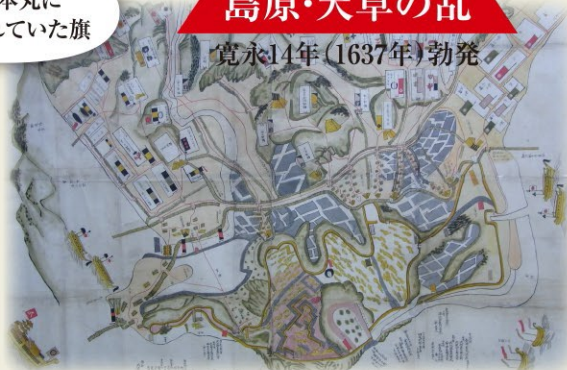


乱で使用された通称「天草四郎陣中旗」。国指定重要文化財(天草市立天草キリシタン館所蔵)

原城本丸に
掲げられていた旗

島原・天草の乱

寛永14年(1637年)勃発



島原の乱陣型図一部分(長崎大学附属図書館経済学部分館所蔵)
一揆軍を攻撃するための砲台の位置などが記されています

度重なる弾圧と生活苦
決断までの道のり

キリシタン大名の有馬晴信が三十年以上も支配した島原半島には、半島の南側を中心にキリスト教を信仰する人々が大量に暮らしていました。しかし慶長十八年(一六一三)、幕府が「禁教令」を日本全国へ発布すると、キリシタンに対しての弾圧が始まり、たくさんの人々が棄教します。その後、島原の領民は不作に悩まされる中、島原藩主松倉氏による重い税金の負担にも苦しめられることになりました。耐えられなくなった領民は、各地で一揆を起しました。さらに天草四郎を総大将にキリスト教に立ち帰り、ついにまとまります。一揆軍の多くは、島原半島南部と天草の農民でした。乱の目的の一つには、信仰の自由を認めたいという思いがあったのでしよう。

リーダーは少年! 島原・天草の乱

原城本丸跡。城の中心を意味する「本丸」の入口付近などからは、埋められた人骨や石垣が発掘されました



海からは
オランダ船による
砲撃を受けました



海を望む小高い丘の上に原城はありました。現在は桜が美しい公園になっています

ココにも
注目!



原城図書館

島原・天草の乱に幕府側として参加した有馬家の家臣の史料を展示しています。寛永15年(1638)の原城での最後の戦いに関する、武士たちの報告や負傷者のリストなどが記されています。

TEL.050-3381-5078

原城文化センター 有馬キリシタン遺産記念館

原城跡からほど近い場所にある資料館。原城跡と日野江城跡から発掘された十字架やロザリオなどキリシタン関連の出土品が展示されています。

TEL.0957-85-3217

原城

明応5年(1496)築造

原城本丸は 一揆軍の最後の砦

民衆によって結成された一揆軍は幕府軍に対抗し、廃城になっていた原城に立てこもります。その人数は、島原と天草の民衆をあわせて約三万七千人。寛永十四年(一六三七)に立てこもりを始めた一揆軍を、幕府軍は何度も攻撃、しかし強力な抵抗にあい、ならみ合いは八十八日間にもおよびます。寛永十五年(一六三八)、女性や子どもを含む一揆軍は全滅。乱後、天草四郎など乱の中心となった人物たちの首は、原城の大手門や長崎の出島の橋に置かれました。抵抗と戦いの場となった原城の跡には現在、石垣などが残っています。

Question ⑨

なぜ、島原で 大きなたの おこったのが

一 揆とは、民衆たちが何らかの理由により心と行動をひとつにして、目的を達成しようとすることです。長崎県の南東にある島原半島でも、その昔、国をゆるがす大規模な一揆が巻き起こりました。



天草四郎

天草四郎は美少年だったか

長崎県 長崎学アドバイザー
本馬貞夫

島原・天草の乱の一揆方の盟主は天草四郎という少年でした。

まずは、島原・天草の乱について大切なことを整理してみましょう。

○キリシタン大名有馬晴信と小西行長の旧領地で一揆が起り、原城に立て籠もった

○一揆が起こった要因は、有馬氏に代わった松倉氏が領民から過酷なやり方で年貢を取り立て、天草でも同様に厳しい年貢取り立てが行われたからという

○原城跡の発掘では、メダイや鉄砲玉を鋳直して作られた十字架が多く発見されている

○幕府は12万もの大軍で原城を包囲し、兵糧攻めのあと総攻撃を行った

○乱後、キリシタン禁教はさらに徹底され、ポルトガル船の来航も禁止された

さて、皆さんは天草四郎につ

いてどんな印象を持っていますか？ この少年の実像はほとんどわかっていません。ここでは史料からわかる天草四郎像を示すとともに、色々な異聞も紹介しましょう。

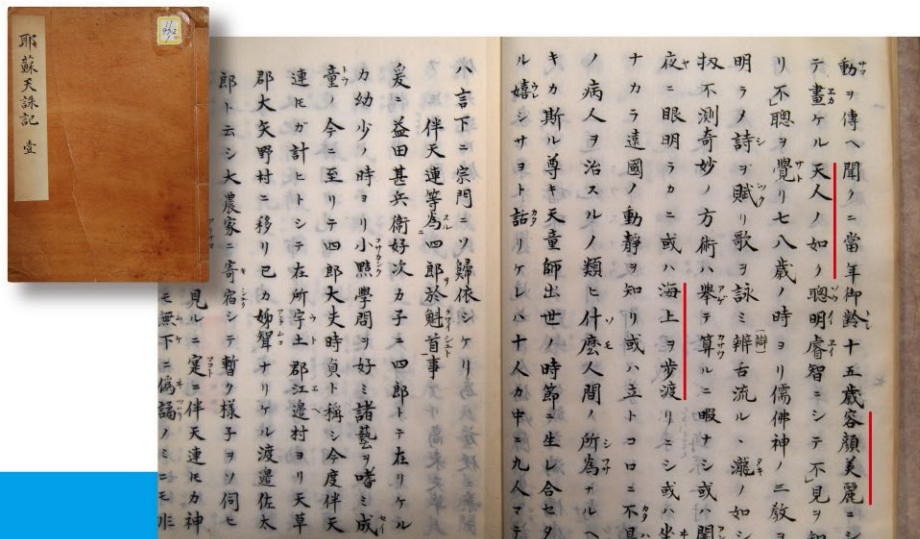
天草四郎は、もと小西の家臣である益田甚兵衛の子として宇土郡江部村（現熊本県宇土市）で育ち、父とともに天草の大矢野島に移りました。洗礼名はジェロニモ、学問修業のため長崎に行っていたとき受洗したのかもしれない。天草で一揆が起こると16歳の四郎が盟主に立てられ、その後島原の一揆勢に合流して原城に入りました。本丸には「四郎の家」があつて、これは礼拝堂とされます。一揆衆は「天の使」である四郎を中心に強く団結していました。容貌については、頬に水疱瘡の痕があると史料にあります。

まだ美少年かどうか、はっきりしませんね。でも、一揆衆はキリシタンに立ち帰った人々が多く、そうした人々を導くだけの魅力は

備わっていたとみるべきでしょう。

江戸中期以降に書かれた島原・天草の乱に関する諸本の一つに、容顔美麗、天人のごとくあつて、確かに美少年伝説もあつたようです。また島原衆と天草衆が談合した湯島まで海上を歩いたとか、手に鳩が舞いおりて卵を産み、中からキリシタン経文が出てきたとか、奇跡を起こす天草四郎が出てきます。その生まれについても、南蛮人の子、豊臣秀頼の子など何とも奇抜、時代小説の主人公になるはずです。

こうした読み物の天草四郎像ですが、キリシタン禁制下にあつても好意的に興味深く表されているような感じを受けます。庶民はおもしろい天草四郎を求めていたのでしょうか。一方、幕府軍に参加した九州諸藩にとって島原の乱は、一番近い戦争として語り継がれ、戦記や原城陣形図の類が数多く作成されました。ここでの天草四郎は、3万7千人ともいう一揆軍の総大将です。



「耶蘇天誅記」村井昌弘著 江戸時代中期の読み物。島原・天草の乱、天草四郎について興味深く書いている。著者は測量家で、著書に「量地指南」がある。（長崎歴史文化博物館蔵）

有馬晴信と有馬のセミナリヨ

有馬義貞の跡を継いだ有馬晴信は、キリスト教信者になり、資金や武器の面でイエズス会の援助を受けたと言われています。晴信の洗礼名は「ドン・プロタジオ」。洗礼名とは、キリスト教の洗礼を受けるときに付けられる名前です。晴信が支援した「有馬のセミナリヨ」の学生の中には、後に天正遣欧使節団としてローマに渡る伊東マンシヨ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンがいました。

伊東マンシヨの肖像画発見！

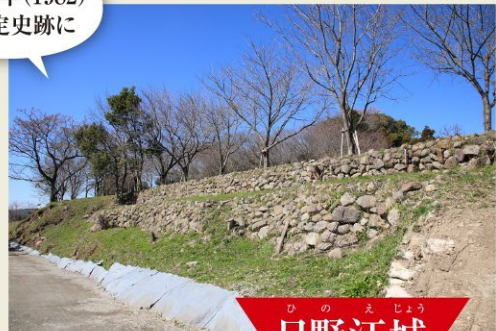


この肖像画は、平成17年(2005)にローマで発見されたものです。西洋の画家が存在感あふれるリアルな日本人少年を描いています。翌年、伊東マンシヨは、時空を越えて没した長崎の地に描かれた姿で戻ってきました。（長崎歴史文化博物館蔵）

昭和57年(1982) 国指定史跡に



有馬氏の菩提寺「台雲寺」があった場所に、現在は願心寺が建っています



有馬氏の居城である日野江城跡。当時の面影として石垣などが残されています

日野江城

築造年の詳細不明

島原半島を治めていた大名の有馬義貞は、南蛮貿易を行うために宣教師を招きます。半島の南部に位置する口之津にイエズス会の宣教師アルメイダが到着。キリスト教が広まるきっかけとなり、永禄十年(一五六七)にはポルトガル船が口之津港に入港し南蛮貿易がスタートしました。南島原市北有馬にある日野江城跡は、戦国時代の形態をよく残しています。当時、城の近くには日本初の神学校「セミナリヨ」や教会、修道院が立ち並んでいました。城跡からは、金箔瓦が出土。有馬氏が豊臣政権につながる大名だったことを表しています。

日野江城はキリスト教社会の重要拠点

キリシタン大名がのこした足跡



複製踏絵 (島原城キリシタン史料館所蔵)

島原藩勢は島原城に籠城。一揆軍は、この島原城を攻略できず原城へと向かいました。現在の島原城は昭和三十九年(一九六四)に天守閣を復元。内部はキリシタン史料館になっています。

城下町「島原」の見所

島原は「水の都」と言われるほど、地下から豊富な清水がこんこんと湧き出ています。昔から水を上手に利用してきた島原の町並みやグルメを楽しみましょう。



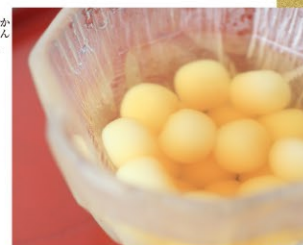
武家屋敷

下級武士の武家屋敷が残る島原の名所です。道路の中央には生活用水として利用されていた水路が今も残ります。



寒ざらし

白玉粉で作った小さな団子を島原の湧水で冷やし、はちみつや砂糖などで作った特製の蜜をかけたもの。上品な甘さと団子のツルンとしたのど越しが特徴です。



具雑煮

お正月やお祝いの時に食べられている島原の郷土料理です。カツオなどからダシをとって、餅、野菜、鶏肉、アナゴなど十種類を越える具材が入り食べ応え十分です。専門店が味わうことができます。

●交通アクセスのめやす

長崎市へ

長崎空港	空港リムジンバスで最速43分	長崎駅前
博多駅(福岡県)	JR特急かもめで約2時間	長崎駅前

平戸市へ

長崎空港	西肥バス(佐世保バスセンターで乗り換え)で約3時間	平戸棧橋バス停
------	---------------------------	---------

佐世保市へ

長崎空港	西肥バス特急で約1時間15分	佐世保バスセンター
長崎駅	JR快速シーサイドライナーで約1時間40分	佐世保駅

大村市へ

長崎駅	JR快速シーサイドライナーで約40分	大村駅
-----	--------------------	-----

島原市へ

長崎空港	島鉄バス特急で約1時間30分	島原駅
長崎駅	JR長崎本線「諫早駅」まで約20分。島原鉄道に乗り換え約1時間	島原駅

ココにも注目!

なが さき れき し ぶん か ほん ぶつ かん
長崎歴史文化博物館

江戸時代に長崎奉行所立山役所があった場所に、この博物館は立っています。外観の一部にも奉行所らしく石垣に白壁造りをとり入れ、江戸時代の石階段も復元利用されています。館内は、見て触れて学べる「歴史文化展示ゾーン」と、奉行所の一部を復元した「長崎奉行所ゾーン」に分けられ、長崎の海外交流史をテーマに長崎の歴史を紹介。約4万8000点のコレクションの中からテーマごとに展示される貴重な歴史資料や美術作品は必見です。週末と祝日は奉行所ゾーンのお白州で、お裁きシーンの寸劇も楽しむことができます。



長崎歴史文化博物館 TEL.095-818-8366 長崎市立山1-1-1

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館



長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

中国革命の父・孫文と、その思想に共鳴し、支え続けた長崎生まれの梅屋庄吉との関係、さらに二人にとってゆかりの地であり、近代以降も中国や欧米諸国との交流において重要な役割を果たした「長崎」の近代交流史を紹介します。

TEL.095-827-8746

長崎市内めぐりは路面電車がとっても便利!

どこまで乗っても1人120円!

グラバー園がある南山手エリアから原爆資料館の浦上エリアまで、有名観光スポットをカバーするとっても便利な路面電車です。運賃も一律120円なので、料金を気にすることなく乗車できます。500円で一日何回も乗れる「一日乗車券」がおすすめです。



長崎電気軌道 TEL.095-845-4111

長崎県の交通ガイド

大村湾、有明海、橘湾。3つの海に囲まれた自然豊かな長崎県。紹介しているまちの中心地は、いずれも海沿いにあります。海から海外の文化を寛容に受け入れた長崎県の町並みをゆっくりと歩いてみましょう!

